

第4期安芸地域アクションプランの進捗状況等について

安 芸 地 域 本 部

令和2年9月9日（水）

安芸地域アクションプランの進捗状況等

R2.9.9

安芸地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（31項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により安芸地域においても各地で集客イベントの中止が相次いでいるほか、地域の観光施設や宿泊施設等への入込客数の大幅な減少や、店舗の一時休業・営業活動の停止など、幅広い分野で影響が出ている。

そういった中、「新しい生活様式」への対応とあわせた消費需要喚起のための新たな取り組みや県の観光リカバリーキャンペーンと連携した誘客など、地域経済の回復に向けた動きも見られる状況となっている。

農業分野では、ユズについて、青果及びユズ果汁の生産拡大や品質向上に向けて、幼木管理講習会の実施のほか、管内優良系統の探索や鳥獣被害の把握などを行っている。ナスについては、生産拡大と産地力の向上を目指して環境制御技術の推進などに取り組んでいるほか、付加価値向上に向けて、新規加工品の開発や機能性表示を利用した販売促進に取り組んでいる。

林業分野では、土佐備長炭の生産量拡大を目指すため、新たに森林情報の解析を始めるなど原材料の確保を推し進めるとともに、後継者の育成研修による生産技術の継承を図るなど、地域伝統産業としての基盤整備に取り組んでいる。さらに、林業加工品関係では、馬路地域の林業事業者が経営力強化のために事業計画の見直しや経費縮減を目指した事業戦略の策定に取り組み、事業の維持と雇用の継続に努めている。

水産分野では、近海マグロの簡易加工品開発や製造体制の構築、加工品製造における衛生管理など、付加価値向上と販路拡大の取り組みを進めている。

商工業分野では、芸西村の特産品であるさとうきびを活用した加工品の開発や販売促進に取り組んでいるほか、室戸市においては、中心市街地振興計画が策定されるなど、中心市街地の活性化に向けた動きが始まっている。

観光分野では、北川村においてモネの庭開園20周年を記念した「ボルディゲラの庭」がオープンするなど拠点施設の魅力向上の取り組みが進んでいるほか、東部地域の食をテーマにした周遊企画の実施など、さらなる集客アップに向けた取り組みも行われている。

(2) 具体的な動き

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 安芸地域のユズを中心とした中山間振興(安芸地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA高知県(安芸地区)</p> <p>◎・JA馬路村</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 総出荷量(JA高知県)</p> <p>出発点(H27-R元平均):5,079t</p> <p>到達目標(R2):5,100t</p> <p>目標(R2-R5平均):5,500t</p> <p>(2) 通販販売額(JA馬路村)</p> <p>出発点(R元.1-12月):8.1億円</p> <p>到達目標(R2):8.5億円</p> <p>目標(R5.1-12月):10億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 総出荷量(R2.6月末):-</p> <p>※ユズの主な収穫時期は11月であるため、現時点の実績はない。</p> <p>(2) 通販販売額(R2.6月末):2.8億円 (対前年同期比:104%)</p> <p>○生産拡大と品質向上の取り組み(新植・改植の推進)</p> <p>【JA高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼木管理講習会の実施(5/24、6/7) ・優良系統の探索について周知(6月配付資料作成) ・鳥獣被害の実態把握として管内にトレイルカメラを設置(6/16) ・園地集約等に関する検討(5/19、6/2、6/15) <p>【JA馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地維持に関する検討(4/8) <p>○安定供給と販路開拓の取り組み</p> <p>【JA高知県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手食品メーカー等との契約継続による販売の安定化(6月)(名古屋、大阪、徳島) ・youtubeを活用した消費宣伝の検討(ユズ協との連携) ・輸出向け病虫害防除指導(4/24、6/19) <p>【JA馬路村】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発に向けた取り組み(JA馬路村) (6月)ユズゼリー、花使用の化粧品、 (8月):ユズサイダー、やきにくのタレ ・リスティング広告、facebookの利用(8月)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続 ・加工品の販売強化 ⇒消費者ニーズに沿った商品開発による品揃えの充実 (JA 馬路村) ⇒リスティング広告の内容見直しによる PR 強化 (JA 馬路村)
<p>■No.2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト (室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・JA 高知県 (安芸地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめファーム全農 NEXT こうち ・(株)アグリード土佐あき ・安芸市担い手支援協議会 ・安芸市施設園芸消費拡大委員会 ・(一社)高知県東部観光協議会 ・(一社)安芸市観光協会 ・安芸商工会議所 ・地元加工業者 ・加工グループ ・地元飲食店 ・地域直販所 	<p>[指標]</p> <p>(1) 出荷量 出発点 (H28.9月～R元.8月平均) : 18,674t 到達目標 (R2) : 19,000t 目標 (R4.9月～R5.8月平均) : 20,000t</p> <p>(2) 新規加工品開発数 出発点 (H29～R元累計) : 2件 到達目標 (R2) : 1件 目標 (R2～R5累計) : 3件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 出荷量 (R2.6月末) : 18,960t (対前年同期比 : 98%)</p> <p>(2) 新規加工品開発 (R2.6月末) : 2件 (安芸グループふぁーむ : フルベジアイス、焼きなすソフトクリーム)</p> <p>○新技術の導入と担い手確保の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめファーム全農 NEXT こうちへの高収量生産技術指導栽培指導 (病虫害診断等 : 2回 (4/21、4/22) 土壌養液分析 : 1回 (5/20) ・環境制御技術導入農家へのサポート及び新規導入推進炭酸ガス施用機導入農家のリストアップ : 228戸 (5～6月) ・アグリサポートによる労働力確保 (農福連携等) 農福連携研究会 : 4回 (4/7、5/12、6/9、7/7) ・新規就農者の確保及び経営安定による早期営農定着支援 新規就農者個別巡回指導 : 20人延べ49回 (4～6月) 安芸市担い手支援協議会幹事会 : 5回 (4/21、5/28、6/8、6/19、7/14) 安芸市就農支援チーム会 2回 (4/10、5/21)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○新規加工品の開発及び販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼きなすソフトクリームの磨き上げ及びトッピング用なす形クッキーの開発(安芸グループふぁーむ)(6月) ・加工品のPR及び販路開拓 フルベジアイス(業務用大豆の発酵を活用、卵、牛乳、生クリーム不使用、焼きナス入り)を大阪大丸内1店舗にサンプル発送(安芸グループふぁーむ)(7月) <p>○ナスの消費拡大と認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市施設園芸品消費拡大委員会HPのリニューアル動画レシピ撮影(7月:4品)、HPにアップ(7月:2品、8月:2品) ・機能性表示を活用した販売促進 サプリメント用規格外品の出荷(5t、6/19) 青果パッケージへの表示方法検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○新技術の導入と担い手確保の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増収阻害要因の究明と対策 ⇒重点指導対象農家の選定と対策指導の実施 ・新規就農者の早期経営安定 ⇒個々の課題整理と目標設定の共有、個別巡回・面談による栽培及び経営改善指導の実施 <p>○新規加工品の開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で飲食店向け冷凍揚げなすの開発が遅れている(飲食店の営業状況の悪化や委託業者との契約が締結できていない) ⇒10月以降に冷凍揚げなすのニーズ調査を実施 ・テイクアウトできる加工品(フルベジアイス・焼きなすソフトクリーム)の販売先について検討を継続 <p>○ナスの消費拡大と認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で収穫体験や出前授業が中止となり、十分なPR活動ができていない。 ⇒レシピ動画制作数を増やすことでPR強化を図る(目標10品) ・機能性表示を活用した販売促進 ⇒本年度秋より青果ナスの出荷を機能性表示のパッケージに切り替え予定

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 3 東洋町のポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興（東洋町）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・フクチャン FARM ◎・東洋町 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 	<p>[指標]</p> <p>(1) 商品開発 出発点 (H28～R 元累計) : 15 商品 到達目標 (R2) : 1 商品 目標 (R2～R5) : 4 商品</p> <p>(2) 商品の販売数 出発点 (H30. 1～12 月) : 6, 574 個 直近値 (H31. 1～R 元. 12 月) : 7, 949 個 到達目標 (R2) : 8, 000 個 目標 (R5) : 8, 400 個</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 商品開発 (R2. 6 月末) : 0 商品 (2) 商品の販売数 (R2. 6 月末) : 846 個 (対前年同期比 46%)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響（商品の納入先の休業等）により、商品の販売数が前年同期の半数に満たない状況となっている。</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発や販売先の拡大 ⇒各種アドバイザーの活用、商談会等への出展の強化 ・担い手確保によるポンカン生産の維持 ⇒先進地視察など担い手確保に向けた各関係機関との連携強化
<p>■No. 4 白玉糖の生産拡大と新商品の開発（芸西村）</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・芸西村製糖組合 <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・集落活動センターげいせい ・(有)かっぱ市 ・生産者グループ 	<p>[指標]</p> <p>村内サトウキビ収穫量 出発点 (H30) : 19t 直近値 (R 元) : 22t 到達目標 (R2) : 20t 目標 (R5) : 25t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>村内サトウキビ収穫量 (R2. 6 月末) : － ※サトウキビの収穫は 11 月以降であるため、現時点では収穫量がない状況となっている。</p> <p>○マニュアルの作成 ・サトウキビ栽培マニュアル作成に向けた意見交換会 (4 月)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○体験メニューの実施・磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かっぱ市と芸西村製糖組合の意見交換会(4月) ・体験メニューのネット予約フォームを作成し、芸西村HPへ掲載(6月) ・土佐の観光創生塾を製糖組合員が受講(6、7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製糖作業時における衛生環境の向上 ⇒製糖組合員がHACCP研修を受講するなどして衛生面の強化を図っていく。
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・室戸市木炭振興会 ◎・土佐備長炭室戸生産組合 ◎・土佐備長炭生産組合 ◎・上土佐備長炭東洋組合 ◎・備長炭生産者 <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・東洋町 	<p>[指標]</p> <p>生産量</p> <p>出発点(H30):1,284t</p> <p>直近見込値(R元):1,340t</p> <p>到達目標(R2):1,384t</p> <p>目標(R5):1,534t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>生産量(R2.6月末):-</p> <p>※生産量については、生産者への聞き取り調査では把握できないため、「高知県の特用林産」の統計値を使用しており、秋以降に判明する。</p> <p>○新規就労者の確保(研修生の受入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規受入(募集中):室戸市3人、東洋町2人 ・実施中:室戸市2人、東洋町3人 ・令和2年度新規研修生面接実施(6/9:室戸市) ・生産組合、備長炭生産者への個別訪問等(4/3、4/7、5/7、5/18、6/25) <p>○原木林の造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カシノナガキクイムシ被害防除事業と被害対策協議会への支援(4/7、5/18、5/27、6/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響による生産量調整 ⇒取引先の間屋がストックできるため、大きな生産量調整は受けていない(7月時点)。 ⇒今後は生産量の調整が予測されるため、生産者の経営状況を注視し資金確保等の支援策を情報提供していく。 ・製炭用原木の調達

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 室戸市定置漁業振興協議会 ・ 中芸定置網漁業振興協議会 ◎ ・ (有)タカシン水産 (佐喜浜工場) 	<p>(2) 水産加工業者による加工品販売額</p> <p>出発点 (H30) : 1 億円</p> <p>直近値 (R 元) : 0.85 億円</p> <p>到達目標 (R2) : 1.08 億円</p> <p>目標 (R5) : 1.2 億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 漁業者による加工品販売額 (R2.6 月末) : 30 千円 (対前年同期比 : 25%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造体制に関する協議 (4 回) ・ 加工場建設支援に関する室戸市との協議 (2 回) ・ 加工事業に関する商工会との協議 (1 回) ・ 加工場建設に向けた事業計画の作成に着手 <p>(2) 水産加工業者による加工品販売額 (R2.6 月末) : 30 千円 (対前年同期比 : 25%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品開発に関する協議 (1 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○漁業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路の開拓、商品開発、事業計画 (加工場) の作成 ⇒マグロ以外の地元商材を使用した新商品の開発、室戸市や商工会と連携した事業計画の作成 <p>○水産加工業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍対策 ⇒ホテルや飲食店向けの売り上げ減少をカバーする新商品の開発や販路開拓の推進
<p>■No.8 室戸海洋深層水による地域産業の推進 (室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・ 深層水関連事業者 ・ 室戸市 	<p>[指標]</p> <p>スジアオノリの生産量 (高岡漁港)</p> <p>出発点 (H30) : 3.3t</p> <p>直近値 (R 元) : 3.7t</p> <p>到達目標 (R2) : 3.4t</p> <p>目標 (R5) : 3.6t</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>スジアオノリの生産量 (高岡漁港) (R2.7 月末) : 1.5t (対前年同期比 : 102%)</p> <p>○スジアオノリ養殖事業の円滑な運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スジアオノリの高生産及び高品質化に関する研究 <p>○深層水商品のブランド化による販売力の強化</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外等でのイベント出展に向けた情報収集 <p>○ 海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強会の開催 1回 (4月) ・ 海洋深層水を活用した地域振興に向けた構想づくりの委託料を室戸市が予算化 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スジアオノリの増産に必要な土地や人員の確保 ⇒ 必要な情報収集の継続 ・ 海洋深層水の機能性を生かした商品開発・販路拡大 ⇒ 企業による研究開発の推進 ・ 海洋深層水を活用した地域振興に向けた構想の早期とりまとめ、具体化に向けた対応 ⇒ 関係者間の連携強化
<p>■ No.9 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・ 協同キラメッセ室戸(有) ◎ ・ 室戸市 	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高</p> <p>出発点 (H30) : 4.1 億円</p> <p>直近値 (R元) : 3.5 億円</p> <p>到達目標 (R2) : 4.14 億円</p> <p>目標 (R5) : 4.2 億円</p> <p>(2) レジ通過者</p> <p>出発点 (H30) : 251,612 人</p> <p>直近値 (R元) : 232,296 人</p> <p>到達目標 (R2) : 254,000 人</p> <p>目標 (R5) : 260,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R2.5月末暫定) : 31,762 千円 (対前年同期比 : 54%)</p> <p>(2) レジ通過者 (R2.5月末暫定) : 23,447 人 (対前年同期比 : 49%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため、4/18~5/17まで休業</p> <p>○ 集荷体制の強化、実証圃の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室戸市農村集落活性化協議会総会 (6/26) を開催し、庭先集荷、実証圃について協議 <p>○ 加工品の開発、販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税返礼品の活用 H29:102,340 千円⇒H30:136,260 千円⇒R元:83,116 千円 ・ SNS を活用した情報発信 (随時)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物出荷者の高齢化に伴う集荷体制の強化 ⇒庭先集荷のルート、集荷頻度の改善を検討 ・加工品や農作物（特に夏場）等の商品不足 ⇒実証圃（ハウレン草・イチゴ）の継続
<p>■No. 10 室戸市中心市街地の活性化（室戸市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・室戸市商工会</p> <p>◎・室戸市</p>	<p>[指標]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業</p> <p>出発点（R元）：－</p> <p>到達目標（R2）：0件</p> <p>目標（R2～R5累計）：2件</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>中心市街地での事業所の新規開業（R2.9月末予定）：2件</p> <p>○新たに策定された中心市街地振興計画に基づく取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市中心市街地振興計画策定（6月） <p>○新規出店者の育成（チャレンジショップ事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ出店事業 →4事業者出店（H30～R2.6月末時点累計） <p>○賑わいの創出（イベント実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちゼミの開催（4月） →4店舗参加 参加者15人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の人口減少や空き店舗の増加などによる商店街の魅力低下 ⇒新規出店者の育成（チャレンジショップ） ⇒賑わいの創出（イベント実施） ・中心市街地振興計画に基づく取り組みの着実な推進 ⇒商工会や室戸市、県などで構成される中心市街地振興協議会によるPDCAの実施
<p>■No. 11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化（安芸市）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・安芸本町商店街振興組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸商工会議所 ・安芸市 	<p>[指標]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業</p> <p>出発点（H30）：0件</p> <p>直近値（R元）：0件</p> <p>到達目標（R2）：0件</p> <p>目標（R5）：3件（R2～R5累計）</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取り組み状況]</p> <p>空き店舗等を活用した新規開業 (R2.6月末) : 0 件</p> <p>○活性化に向けた方向性の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一回ワークショップ (R2.3月) での意見を基に第二回ワークショップに向けた協議内容の整理・検討 <p>○イベント等の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内事業者グループによる地域産品のコラボギフトの通販企画協議 (6/24, 8/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街等振興計画策定に向けた機運の醸成 ⇒ワークショップを継続して行い、今後取り組みたい具体的事業の検討を進める。 ・ 商い甲子園の中止やコロナ禍への対応 ⇒補助金を活用した商店街独自の取り組みを検討
<p>■No. 12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興 (東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋町 	<p>[指標]</p> <p>(1) 売上高</p> <p>出発点 (H30) : 1.68 億円</p> <p>直近値 (R元) : 1.68 億円</p> <p>到達目標 (R2) : 1.71 億円</p> <p>目標 (R5) : 1.76 億円</p> <p>(2) 来場者数</p> <p>出発点 (H30) : 177,809 人</p> <p>直近値 (R元) : 175,666 人</p> <p>到達目標 (R2) : 181,382 人</p> <p>目標 (R5) : 187,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 売上高 (R2.6月末) : 24,601 千円 (対前年同期比 : 51%)</p> <p>(2) 来場者数 (R2.6月末) : 26,491 人 (対前年同期比 : 53%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため 4/20~5/7 (レストランは 5月14日) まで休業</p> <p>○魅力的な店舗づくり、情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日曜市 (れんけいこうちブース) への出店 (6/21) ・ 自主イベントの検討・計画、町外事業者への出店依頼

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の狭隘対策 ⇒レイアウト変更などに向けた各種アドバイザーの活用及び関係者間協議 ・特産品の開発 ⇒新たな加工品開発・生産のためのアドバイザー活用及びセミナー受講の検討 ・集客強化 ⇒イベントの開催及び誘致
<p>■No. 14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社)なはりの郷 ◎・奈半利町 ◎・奈半利なんでも市加工グループ ◎・NCL48 ◎・漁協女性グループ <ul style="list-style-type: none"> ・JA高知県(安芸地区) 	<p>[指標]</p> <p>(1) JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 出発点(H30):677万円 直近値(R元):775万円 到達目標(R2):768万円 目標(R5):912万円</p> <p>(2) 農水産加工施設の店舗売上高 出発点(R元見込):800万円 直近値(R元):935万円 到達目標(R2):825万円 目標(R5):900万円</p> <p>(3) 集出荷センター取扱高 出発点(R元.7月~R2.6月見込):5.4億円 到達目標(R2.7月~R3.6月):5.55億円 目標(R5.7月~R6.6月):6億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(R2.5月末) :141万円(対前年同期比:110%) ・加工グループ、関係機関と協議(R2.6月末):2回</p> <p>(2) 農水産加工施設の店舗売上高(R2.5月末) :229万円(対前年同期比:155%) ・加工グループ、関係機関との協議(R2.6月末):9回 ・とさのさとアグリコレットへの出品</p> <p>(3) 集出荷センター取扱高(R元.7月~R2.3月) :4.5億円(対前年同期比:21%)</p> <p>○集落活動センター運営体制の充実 ・定例会を開催し、奈半利町と運営について協議(6月末):3回</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○農作業受託・新規就農者受入等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業受託状況(6月末) <ul style="list-style-type: none"> 畦塗り15件/耕起51件/田植5件/その他3件 農作業オペレーター登録者(6月末):24名 ・不耕作地解消事業 <ul style="list-style-type: none"> ジャガイモ、胡瓜、無花果、米の栽培・出荷 ・施設園芸 <ul style="list-style-type: none"> なはりの郷の自社ハウスでのナスの栽培・出荷 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の売上高の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒とさのさとアグリコレットへの出品の継続 ⇒なはりの郷の通販サイトを活用した販路の拡大 ⇒各種アドバイザーを活用した商品の磨き上げ ・(一社)なはりの郷の不採算事業の収支改善 <ul style="list-style-type: none"> ⇒アドバイザーを活用した収支改善策の検討
<p>■No. 15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・田野町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者 	<p>[指標]</p> <p>(1) 体験施設受入人数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点(H30):269人 直近値(R元):421人 到達目標(R2):490人 目標(R5):700人 <p>(2) 塩関連での就業者数</p> <ul style="list-style-type: none"> 出発点(H30):2人 直近値(R元):2人 到達目標(R2):2人 目標(R2~R5累計):10人 <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 体験施設受入人数(R2.6月末):11人 (対前年同期比:7%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため5/24まで休館、5/25から再開、8/1から休館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光ガイド協議会事業を活用したガイドに対する研修の実施(6月) <p>(2) 塩関連での就業者数(R2.6月末):2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規研修生2名の受け入れ(4月~) ・「道の駅田野駅屋」で完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売開始

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と関係者間での連携体制の強化 ⇒研修生の受け入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での協議 ・関連産業への波及 ⇒「道の駅田野駅屋」と連携して、完全天日塩を活用した新メニュー開発の検討 ・集客のためのPR(体験施設) ⇒町HP等で情報発信 ・製塩体験プログラムの磨き上げ ⇒ガイド内容の習熟に向けての検討
<p>■No. 16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>◎・道の駅指定管理者(たの未来プロジェクト(株))</p> <p>◎・田野町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設指定管理者(中芸食材工房) ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[指標]</p> <p>(1) 年間店舗売上高(1月～12月)</p> <p>出発点(H30): 2.7億円 直近値(R元): 2.8億円 到達目標(R2): 2.8億円 目標(R5): 2.8億円</p> <p>(2) 年間入込数(1～12月)</p> <p>出発点(H30): 278千人 直近値(R元): 280千人 到達目標(R2): 284千人 目標(R5): 300千人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 年間売上高(R2. 1～3月): 70,543千円 (対前年同期比: 80%)</p> <p>(2) 年間入込数(R2. 1～3月): 62千人 (対前年同期比: 95%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため4/25～5/6まで休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外商の拡大に向けた地産外商公社等への田野駅屋野菜情報の提供(月1回) ・完全天日塩を使用した塩ラーメンを期間限定で販売開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる集客アップに向けた戦略づくり ⇒販売増を目指した広報強化の検討 ・直販・飲食機能の強化 ⇒完全天日塩を活用した新メニュー開発の検討

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(有)かっぱ市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・生産者グループ 	<p>[指標]</p> <p>売上高</p> <p>出発点(H30): 1.4億円</p> <p>直近値(R元): 1.38億円</p> <p>到達目標(R2): 1.48億円</p> <p>目標(R5): 1.5億円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>売上高(R2.6月末): 35,772千円 (前年同期比: 96.1%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため5/2~5/6まで休業</p> <p>○外商活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で打撃を受けていた花卉農家と連携し、ふるさと納税に花束を出品(4月)⇒108個販売 <p>○経営戦略の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化サポートセンターによる支援を得て、経営状況の確認、経営戦略の検討(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンパワー不足による運営体制の弱体化 ⇒専門家の助言に基づく経営戦略の作成や人材確保センターとの連携による人員確保
<p>■No. 19 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・(一社)高知県東部観光協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[指標]</p> <p>(1) 圏内主要施設訪問者数(1~12月)</p> <p>出発点(H30): 2,454,671人</p> <p>直近値(R元): 2,495,024人</p> <p>到達目標(R2): 2,522,768人</p> <p>目標(R5): 2,606,000人</p> <p>(2) 圏内宿泊者数(1~12月)</p> <p>出発点(H30): 142,741人</p> <p>直近値(R元): 145,647人</p> <p>到達目標(R2): 146,735人</p> <p>目標(R5): 150,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 圏内主要施設訪問者数(R2.1~5月末) : 688,974人(対前年同期比: 64.6%)</p> <p>(2) 圏内宿泊者数(R2.1~5月末) : 29,874人(対前年同期比: 47.5%)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○組織体制の強化と関係団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知東部食プロジェクトによる食をテーマとした周遊企画実施 (7/10～9/30) ・体験型観光事業者向け「新型コロナウイルス対応ガイドライン」の策定 (6月) ・「ひがしこうち DMO」の確立に向けたコアメンバー会議開催 (7/21) <p>○戦略的な広報・PR 活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬空港に電子版の広告掲出 (4～3月) ・高速道路サービスエリアでのパンフレット配架 (5～8月：6箇所、6～8月：1箇所) ・大阪メトロ御堂筋線つり革広告掲出 (R2.6～R3.3月) <p>○着地型商品の造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響を受けている体験型観光事業者への支援 (6月：一律10万円7団体へ支援実施) ・旅行会社バスツアーへの助成 (6/28：高知新聞観光21名送客) ・土佐の観光創生塾への参加を呼びかけ、東部観光協議会職員も参加 (6/29、7/7) (6月の東部地域からの申込者数35人) <p>○教育旅行の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西旅行会社へのセールス活動 (7/6～7/8：高知県との同行セールス15社、個別セールス5社) ・安全管理マニュアル作成セミナー参加 (7/15) <p>○サイクリングによる東部観光の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸・室戸パシフィックライド2020 実行委員会 (5月：書面決議) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひがしこうち DMO」の観光戦略に基づく事業推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県の観光地域づくり塾を活用した域内消費を増やす取組の計画策定 ⇒広域観光組織の体制強化 (県版地域おこし協力隊の配置) ⇒マーケティング調査の実施・分析とフィードバック ⇒コアメンバー会議を主体とした商品造成・磨き上げ ・ターゲット層やターゲットエリアを意識した戦略的な広報・PR 活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ⇒WEB サイトや SNS に関するアクセス分析・PR への活用 ・観光需要回復に向けた取り組みの推進

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒国のGOTOトラベルキャンペーン及び県のリカバリーキャンペーン他コロナ対策事業及び同事業と連動したプロモーションの実施</p> <p>⇒高知東部食プロジェクトによる東部地域内での周遊企画支援及びPR</p> <p>⇒高知市内等での観光フェアの実施</p>
<p>■No. 20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>[指標]</p> <p>中芸地域主要施設訪問者数</p> <p>出発点 (H30) : 537,560人</p> <p>直近値 (R元) : 539,718人</p> <p>到達目標 (R2) : 540,000人</p> <p>目標 (R5) : 550,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>中芸地域主要施設訪問者数実績 (R2.6月末) : 95,278人 (対前年同期比 : 61%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回戦略会議の開催 (6/25) ・JAL機内誌「スカイワード」での特集 (6月) ・地域の魅力イベント「ゆずフェス」開催に向けた協議 (6/12、6/24、7/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自走に向けた方向性、戦略の策定 ⇒産振アドバイザーを導入し、自走に向けた戦略づくりや協議会体制の見直しを進めていく。 ・訴求力あるイベント企画及び情報発信の強化 ⇒第6回ゆずフェスの企画及び開催、日本遺産サミットでPR活動 ⇒中芸の見所100選の選定、「一店一品」運動の実施による情報発信 ・旅行ツアー商品の開発及びガイドの育成 ⇒東部観光協議会と連携した旅行商品の開発 ⇒自転車を活用した体験メニューの造成 ⇒ガイド研修の実施
<p>■No. 21 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興(室戸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・室戸市</p>	<p>[指標]</p> <p>(1) 室戸市主要施設訪問者数</p> <p>出発点 (H30) : 805千人</p> <p>直近値 (R元) : 812千人</p> <p>到達目標 (R2) : 820千人</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(3) 室戸ドルフィンセンター来場者数 (R2.6月末) : 1,763人 (対前年同期比: 18%) ※新型コロナウイルスへの対応のため4/18~5/17まで休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊企画参加 (くじらリー、シイらない魚介、ニコニコランドセル) ・高知市日曜市出店 ・SNS活用による情報発信 (随時) <p>(室戸黒潮協同組合) レストラン、直販所の利用者数 (R2.6月末) : 6,502人 (対前年同期比: 20%) ※新型コロナウイルスへの対応のため4/20~5/15まで休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS活用による情報発信 <p>(4) むろと廃校水族館来館者数 (R2.6月末) : 7,938人 (対前年同期比: 15%) ※新型コロナウイルスへの対応のため4/18~5/17まで休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS活用による情報発信 (随時) ・屋外プール日除の設置 (6月) ・イベント・企画の実施 「あなたのシイらない魚介 (スタンプラリー)」 ニコニコランドセル (室戸ドルフィンセンター・桂浜水族館と連携) <p>(5) MUROTObase55 (旧ライダーズイン室戸) 利用者数 (R2.6月末): 宿泊20人、食事13人 ※新型コロナウイルスへの対応のため4/16~5/31まで食事休止、4/16~6/30宿泊休止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光創生塾参加 (担当地域おこし協力隊) MUROTObase55と周辺施設などが連携した周遊メニューの検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設間連携による周遊・滞在型観光への転換 ⇒観光・宿泊・飲食事業者等との協議の場の設置 ⇒ツアー造成やスタンプラリーの内容強化の検討 ⇒高知県観光コンベンション協会や東部観光協議会との連携による、ツアーの磨き上げや旅行会社等への売り込み強化

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークガイドの人材確保及びツアーの磨き上げ ⇒ガイド養成講座などによるジオツアーの磨き上げ ・ドルフィンセンター指定管理者の変更 ⇒新指定管理者への円滑な移行 ・MUROTObase55 の安定運営 ⇒SNS の活用など広報の強化 ⇒周辺施設等との連携メニューの造成
<p>■No. 22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 (安芸市)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・安芸市</p> <p>◎・(一社)安芸市観光協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA 高知県 (安芸地区) ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廓中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜揚げちりめん丼」楽会 ・道の駅大山 ・安芸商工会議所 ・「はばたけ彌太郎」安芸市推進委員会 	<p>[指標]</p> <p>(1) 市内年間観光客数</p> <p>出発点 (H30) : 278,442 人</p> <p>直近値 (R 元) : 254,496 人</p> <p>到達目標 (R2) : 280,000 人</p> <p>目標 (R5) : 300,000 人</p> <p>(2) 市内年間宿泊者数</p> <p>出発点 (H30) : 25,726 人</p> <p>直近値 (R 元) : 25,062 人</p> <p>到達目標 (R2) : 25,900 人</p> <p>目標 (R5) : 26,500 人</p> <p>(3) ちりめん丼販売食数</p> <p>出発点 (H30) : 46,872 食</p> <p>直近値 (R 元) : 46,736 食</p> <p>到達目標 (R2) : 47,000 食</p> <p>目標 (R5) : 50,000 食</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 市内年間観光客数 (R2.6月末) : 18,645 人</p> <p>(2) 市内年間宿泊者数 (R2.6月末) : 2,569 人</p> <p>(3) ちりめん丼販売食数 (R2.4月末) : 1,265 食 (対前年同期比 : 30%)</p> <p>○三菱創業 150 周年記念事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎弥太郎物語 (マンガ) 制作委託 <p>○岩崎家ゆかりの地 4 市区町での連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4 市区町の一つ、千葉県富里市でのじゃこの日給食の実施 (6 月) <p>○地域食材を活用した誘客の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市施設園芸品消費拡大委員会 HP においてナス料理提供店 17 店舗掲載

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内周遊観光の強化 ⇒安芸観光情報センターを拠点にした市内観光地への誘導 ⇒観光創生塾受講による体験型観光メニューの磨き上げ ・コロナ禍におけるイベント等の開催 ⇒感染防止対策の実施など新しい生活様式に沿った形で実施可能なイベント等の開催について関係者で協議
<p>■No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進（東洋町）</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・（一社）東洋町観光振興協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・地元マリンスポーツ等関係事業者 ・宿泊事業者 	<p>[指標]</p> <p>体験者数</p> <p>出発点（H30）：465人</p> <p>直近値（R元）：4,630人</p> <p>到達目標（R2）：3,500人</p> <p>目標（R5）：5,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>体験者数（R2.6月末）：0人（対前年同期比：0%）</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため4/25～5/31まで生見海岸駐車場閉鎖</p> <p>○事務局体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興協会職員（地域おこし協力隊）1名が観光創生塾を受講 <p>○体験プログラムの磨き上げ・開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海上アスレチック実施に向けた部会の開催（2回） ・南四国アイランド活性化協議会などにおいて、野根川等を活用した観光振興について協議（7月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツの充実 ⇒観光創生塾への参加を通じた体験プログラムの磨き上げ及び造成 ⇒野根川地域の観光振興策に係る協議 ・広報活動の強化 ⇒関西地域における観光PR ・体験型観光における新型コロナウイルス感染症の予防対策 ⇒新しい生活様式に基づいた感染予防対策の周知及び実施

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 24 DMV (デュアル・モード・ビークル) を活用した観光振興 (室戸市、東洋町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社) 東洋町観光振興協会 ◎・東洋町 <ul style="list-style-type: none"> ・阿佐海岸鉄道(株) ・東洋町商工会 ・NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト ・(一社) 高知県東部観光協議会 ・室戸市 	<p>[指標]</p> <p>東洋町主要施設訪問者数</p> <p>出発点 (H30) : 231,780 人</p> <p>直近値 (R 元) : 255,552 人</p> <p>到達目標 (R2) : 245,000 人</p> <p>目標 (R5) : 250,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>東洋町主要施設訪問者数 (R2.6 月末) : 35,962 人 (対前年同期比 : 54%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南四国アイランド活性化協議会において、DMV を活用した観光振興について協議 (7 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客受入態勢の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒観光マップの作成、配布 ⇒みやげ物の試作、販売 ⇒レンタサイクルなど二次交通の検討 ⇒体験プログラムの充実 ⇒広報活動、運行開始カウントダウンイベント、運行開始セレモニー等の実施 ・甲浦駅の魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒遊休地や駅舎の活用策の検討 ⇒駅の改修 (12 月見込)
<p>■No. 25 奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大 (奈半利町)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(一社) なはりの郷 ◎・奈半利町 <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製糸(株) 	<p>[指標]</p> <p>(1) 記念館来館者数 (1 月～12 月)</p> <p>出発点 (H30) : 1,000 人</p> <p>直近値 (R 元) : 1,013 人</p> <p>到達目標 (R2) : 1,125 人</p> <p>目標 (R5) : 1,500 人</p> <p>(2) 海浜センター利用客数</p> <p>出発点 (H30) : 562 人</p> <p>直近値 (R 元) : 567 人</p> <p>到達目標 (R2) : 926 人</p> <p>目標 (R5) : 2,000 人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>(1) 記念館来館者数 (R2.6 月末) : 22 人 (対前年同期比 : 24%)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(2) 海浜センター利用客数 (R2.6月末) : 6人 (対前年同期比: 3%)</p> <p>※新型コロナウイルスへの対応のため4/16~5/15まで休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入人数の制限付きで営業再開 (5/16~) ・高知県地域観光振興交付金を活用した奈半利町ふるさと海岸の施設整備 (R2年度は、昨年度策定した奈半利町観光基本構想をもとに、基本計画及び基本設計の策定を行う) ・高知県地域観光振興交付金の交付決定 (6月) ・奈半利町観光基本計画及び基本設計業務公募型プロポーザルの実施 (7月末) ・SNSを活用した情報発信の強化 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備及び周辺整備の検討・実施 ⇒奈半利町観光基本計画及び基本設計業務公募型プロポーザル落札業者と連携した基本計画及び基本設計の策定 ・集客力アップに向けた取り組み ⇒海浜センターを拠点とした体験メニューの充実・磨き上げ ⇒ふるさと海岸の整備も含めた多方面の情報発信によるファンの獲得
<p>■No. 26 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化 (安田町)</p> <p>《実施主体》 ◎・安田町</p>	<p>[指標]</p> <p>キャンプ場利用者数 出発点 (H30) : 2,527人 直近値 (R元) : 3,201人 到達目標 (R2) : 3,000人 目標 (R5) : 6,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>キャンプ場利用者数 (R2.6月末) : 53人 (対前年同期比: 58.8%)</p> <p>※コロナの影響により4/20から閉鎖中 引き続き、改修工事のため、今年度中は閉鎖予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県地域観光振興交付金交付決定 (5/25) ・再整備工事開始 (8月着工、R3.3月完了予定)

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理・運営体制の見直し ⇒来年度指定管理者の公募を開始予定 ・顧客サービスの向上への取り組み ⇒周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくりの検討 ⇒大手アウトドアメーカーとの提携内容の協議
<p>■No. 27 北川村観光3施設の誘客強化による 交流人口の拡大(北川村)</p> <p>《実施主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎・(株)きたがわジャルダン ◎・北川村 <ul style="list-style-type: none"> ・北川村観光協会 ・北川村中部地区集落活動協議会 ・NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[指標]</p> <p>各施設入園(館)者合計数(4月～3月)</p> <p>出発点(H30): 94,350人 直近値(R元): 98,585人 到達目標(R2): 100,000人 目標(R5): 108,000人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>各施設入園(館)者合計数(R2.6月末) : 11,813人(対前年同期比: 28.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村「モネの庭」マルモッタン : 10,092人(対前年同期比: 29.9%) <p>※4/18～5/15 臨時休園(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)</p> <p>※モネの庭内の「ボルディゲラの庭」オープン(5/16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中岡慎太郎館: 351人(対前年同期比: 18.2%) ※4/1～4/14 リョーマの休日関連企画「北川村あの日あの時Ⅱ」の開催 4/14～5/15 臨時休館(新型コロナウイルス感染症感染防止のため) ・北川村温泉ゆずの宿: 1,370人(対前年同期比: 26.4%) ※4/18～5/31 臨時休館(新型コロナウイルス感染症感染防止のため) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による入園(館)者数の減少 ⇒村外に向けた観光情報等の発信力強化のために北川村観光協会ホームページを改修 ⇒集客に向けた取り組みの強化として、北川村観光協会及び(株)きたがわジャルダン職員の観光創生塾等への参加

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化(馬路村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・集落活動センターやなせ運営協議会 ・馬路村</p>	<p>[指標]</p> <p>観光客入込数 出発点(H30): 4,853人 到達目標(R2): 5,435人 目標(R5): 6,300人</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>観光客入込数(R2.6月末): 495人 (対前年同期比: 21.9%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務の受託(4/1~) 魚梁瀬森林鉄道乗車体験等及び魚梁瀬森林公園オートキャンプ場の運営 集落活動センターの事務局体制強化のため、4月より集落支援員1名増員(計2名) 事業部会の開催等による新事業の検討 →先進地視察実施(8/1、2) 指定管理施設のコロナウイルス感染防止対策 →中山間地域振興アドバイザー派遣(7/27) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落活動センターで取り組む新たな事業の検討、事業計画の作成 ⇒うちんくのビジネス塾を活用し、住民による事業計画作成のノウハウを習得する。 指定管理施設のコロナウイルス感染防止対策 ⇒アドバイザーの指導を着実に実施し、防止に努める。
<p>■No. 31 集落活動センターげいせいを拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《実施主体》</p> <p>◎・集落活動センターげいせい ・芸西村</p>	<p>[指標]</p> <p>加工品等販売額 出発点(H30): 108万円 直近値(R元): 180万円 到達目標(R2): 260万円 目標(R5): 500万円</p> <p>[取り組み状況]</p> <p>加工品等販売額(R2.6月末): 6万円 (対前年同期比: 300%)</p> <p>○商品(黒糖を活用したスイーツ)の磨き上げ ・新加工場の稼働開始(6月)</p>

項目	取り組み状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴ・パッケージについて打合せ(5月、7月) <p>○外商の基盤づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生協会による HACCP 専門家派遣(6月) ・真空パック機導入(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工商品の収益の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒安定的な売り先である、ふるさと納税の返礼品として提供 ⇒かっぱ市におけるフェアの開催 ⇒原材料の見直しや作業効率の向上による費用の縮減 ・商品訴求力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒アドバイザー活用による新商品開発 ⇒ロゴやPR用パンフレットの作成 ⇒県版 HACCP 認証取得

2 令和2年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)
該当なし

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(自立、成長戦略、その他)(予定)項目
該当なし

4 県民参画に向けた取り組み
・土佐 MBA や土佐の観光創生塾、観光地域づくり塾などの受講周知

5 相談案件:3件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/7	食品加工	県版 HACCP に対応した食品加工施設整備(室戸市)
2	6/10	観光	野根川地域の活性化(東洋町)
3	8/17	観光	宿泊施設の改修(芸西村)